



代表 質問

「鉄道高架」「防災」「教育基本法」 「国保」で質問・追及

「調べたところ、鉄道高架事業のほとんどは県外のゼネコンが請け負っている。間違った「いか」と質問：開発部長は「その通り」と答弁しました。前号の「ホッとニュース」でお知らせ

佐古駅周辺の鉄道高架事業を請け負った業者

約0.5kmの工区	不動建設	県外ゼネコン
約0.4kmの工区	姫野組	県内業者
約0.4kmの工区	森本組	県外ゼネコン
約0.5kmの工区	大林組	県外ゼネコン
約0.4kmの工区	鉄建建設	県外ゼネコン
約0.6kmの工区	西松建設	県外ゼネコン
約0.7kmの工区	大鉄工業	県外ゼネコン

鉄道高架事業は

ゼネコンの仕事づくり

六月十三日、市議会本会議で、日本共産党徳島市議団を代表し、私が質問しました。とりあげたテーマは「鉄道高架」「防災」「教育基本法」「国保」。その内容を「ホッとニュース」の今号と次号に連載します。本会議質問で、鉄道高架を請け負うのは大半が県外の大手ゼネコンだが、防災対策を請け負うのは大半が市内業者ということが判りました。鉄道高架の中止を求める大きな理由の一つです。

県外ゼネコンの鉄道高架事業を中止せよ

市内業者が請け負った防災対策を

「調べたところ、鉄道高架事業のほとんどは

県外のゼネ

コンが請け

負っている

。間違った

「いか」と

質問：開発

部長は「その

通り」と答

弁しました

。前号の

「ホッと

ニュース」

でお知らせ

しましたが、高

知の鉄道高架を

請け負っている

のも、一社以外、

すべてが県外の

ゼネコンです。

しかも、徳島

の場合も「見事な事業の分割・割

り振り」：談話が常態化している

と想起できます。

千億円の可動堰にかわる千億円

の鉄道高架：いずれも、県外ゼネ

コンの仕事づくりであることが共

通しています。

赤子の牟岐線を

一千万円かけて鉄道高架する

無謀な計画は止めよ！

赤子の牟岐線を

一千万円かけて鉄道高架する

無謀な計画は止めよ！

徳島市の鉄道高架が、いかにム



佐古駅周辺の鉄道高架

大な事業であるか：象徴的なのが、この鉄道高架計画で除去する踏切十三のうち十一：実に八十五%もが牟岐線にあることです。

一両で走る列車も

多い牟岐線ですが乗客もマバラで、列車本数は一日わずか六十一本（一時間に二〜三本）。赤字路線であることは、誰が見ても認識できます。

新聞でも大きく報道されましたが、慢性的な巨額の赤字経営を強いられているJR四国は、今年度末で国の支援策が切れるため、「経営できなくなる」と危機感を募らせているとのこと。牟岐線は存続そのものが危ぶまれている路線なんです。

私は「赤字の牟岐線を、二十年もかけて鉄道高架にする、無謀な計画を止めるよう」強く求めました。

一軒屋関係住民の大半が

鉄道高架をまっくらに反対

六月九日、「一軒屋駅東地区、街路整備・市街地再開発・鉄道高架反対同盟」のみなさんが市長に、「鉄道高架事業に断固反対します。またそれに伴う街路整備事業と駅前広場整備及び市街地再開発事業にも断固反対



一両で走る牟岐線

します」という
主旨の通告書を
提出しました。
そこに署名し
ているのは、区
画整理で線引き
された地域に居
住している地権
者の八十二%に



二軒屋「反対同盟」(県庁前)

本会議場で明らかになった お粗末な徳島市の防災対策

全町が避難困難地区の沖洲

住民の二割が避難できず

「徳島市内で唯一、全町が避難困難地区に指定されている沖洲ですが、避難人数と避難所の収容人数は」と質問：「避難人数は一万七千九百三十三人。収容できるのは津波避難ビル二十六ヶ所で約三千八百人」という答弁に驚きました。住民のわずかに二割しか避難できなない：お粗末な徳島市の防災対策を象徴しています。
そこで私は、「今年三月、県南の地震・津波



旧日和佐町の津波避難タワー

もなる三百五十五名もの方々です。その二軒屋のみなさんが大勢、「代表質問」の傍聴にみえられましたが、その中で私は「まちづくりの住民合意がないのに、それを「ある」ようにみせかけ、鉄道高架を推進しているが許せない。二軒屋「まち壊し」の鉄道高架事業推進は止めろ」と追及しました。

対策を視察してきましたが、旧日和佐町の津波避難タワーや、旧海部町の津波「避難所」を視て、避難困難地区には必要な設備だと実感：緊急に設置を」と迫りました。



旧海部町の津波「避難所」

学校外の

耐震化されていない

避難所が十七施設も

私ども日本共産党市議団が要望してきた「学校の耐震化」は、今年度十億円の予算を組んで補強工事がスタートしましたが、「学校の、今後の耐震化計画ついて」質問：

教育長は「平成二十二年年度までの完了を予定している」と答弁しました。



また「学校以外の避難所の耐震化計画はどうなっているのか」と質問：総務部長は「耐震化されていない(危険な)避難所が十七施設あるが、財政状況を勘案し、耐震化をすすめていきたい」と答弁：私は「危険な避難所を何もせずに、今まで放ってあった市政に大問題がある。緊急な実施を強く要望する」と迫りました。

市内に二万五千戸も

耐震化されていない木造住宅

九十六%が危険

阪神大震災では、八割以上の方は木造住宅の倒壊や家具の下敷きで亡くなりましたが、「徳島市内に耐震化されていない木造住宅は何戸あるのか?」また、耐震診断で、危険という結果が出たのは何%?」と質問：「耐震化されていない木造住宅は二万五千戸：耐震診断で「危険」は九十六%」と答弁。



徳島市の防災対策がほとんどできていない実態が、ここでも明らかになりました。

横浜市のよつこに

自己負担をめぐり

木造住宅の耐震化を

そこで私は「徳島市で三千万の自己負担が要る耐震診断が、横浜市では無料。しかも徳島市では耐震補強工事に多額のお金がかかりますが、横浜市では、平均工事費二百万円に対し、非課税世帯に二百二十五万円、課税世帯に百五十万円の補助金が支給され、しかもそれを超える工事には無利子融資をしている：だから横浜市では、自己負担金の心配なく、木造住宅の耐震診断が受けられたり、耐震化の工事ができる：徳島市でも実施せよ」と迫りました。

防災対策を請け負うのは

ほとんどが市内の業者

また「防災の工事は市内業者が請け負えるのか?」と質問：「ほとんどが、市内業者でできる」と答弁。私は「ゼネコンの鉄道高架を止め、防災対策を充実させ、市内業者の仕事を増やせ」と迫りました。